



## 笑いのある職場は 人権にもつながる

### 人権落語講演会に参加して

今年一番の寒さきびしい12月5日緑ヶ丘本町公民館にて「人権落語後援会」“笑いのある職場は人権にもつながる”のテーマで開催されました。(東部地域住民自治協、人権啓発部会、人権草の根運動推進会議主催) 参加者60数名の皆様は終始笑顔と笑い声で公民館内は活気にあふれ身も心もあたたかくなりました。ユーモアコンサルタントの矢野宗宏さんに講師をしてもらいました。

第一部では、ネクタイとスーツ姿で登場、八光信用金庫(八尾市)の職場での体験を通して人権の大切さを語ってくれました。外交の成績も上がり無能な自分、いつも立たされており上司よりくどくどと説教が続き、どんどん落ち込んでいきました。その後山本支店へ人事異動になり、そこでの上司に出会い人生が一変。落ちこぼれの自分にやさしく笑いながら「人生の出会いミラクル(奇跡)やで」と「君は春に咲く花じゃなく秋に咲く花かも」とその一言で

生まれ変わったと言います。

矢野氏は、関西学院大学時代落研の会長を経験しており、得意な落語を活用して上司と地域の施設等の訪問を続け、「落語サークル結成」「お笑い研究会発足」等活動していくうちに業務成績もぐんぐん上がり支店長までに出世することができました。

講演の最後に元気の出る笑いのポイントは

- ①笑う時には横隔膜を動かす!
- ②ワッハッハのハの時思いきり吐く!
- ③身振り手振りをつけてしゃべる!

笑いには、浄化作用の大効果、明るく元気で大きな声が出る、心が広がると結ばれました。

第二部は、着物姿で古典落語を披露してくれました。とても面白く、皆様笑いが止まりません。笑うと免疫力も高まり、健康にもいいし人生も楽しくなりますと再度結ばれました。

〈取材：鷹森 由紀子〉



## 人がつどい憩う公民館

### 自然に囲まれて…

私たちの公民館は平成23年4月開催の総会で承認を得てから、24年の春に完成しました。場所は伊賀白鳳高校の南東方の七つ池広場です。諸行事を通じて町内の方々が集い、新たな交流を育てる拠点として出発しました。

七つ池広場は、公民館ができるまでは、子どもたちや高齢者のグラウンドとして利用されてきました。また、町の防災拠点として、防災資機材倉庫があり、倉庫内にある資機材の使用方訓練や点検の場として利用し、万が一に備える体制をとってきました。



### 緑がいっぱい…

町の行事で公民館を使っていた方々のなかには、七つ池広場のあることを知らなかった方がおられ、そんな方から『周りには緑がいっぱい』と言っていたとき、再認識するとともに、わが町の自慢になるのではと考えて、思いを寄稿しました。

### 休息の場(テラス)の設置が好評

公民館の広場側に屋根を長くせり出し、テラスを広くしました。そこに重厚な木材の長イスと長ツクエを広場に向け座れるように固定しました。グラウンドゴルフのプレーを終えた人の声として、『暑い日差しを避け、ひと時の休息を取ることができる』と喜んでいただいています。

緑ヶ丘5町の消防に取り組んでいただいている消防団員の懇親会・バーベキュー大会が開催されました。その時の参加団員の方が『食べる場所として、長イスと長ツクエを使えて重宝した。また、急な激しい雨にテラスに避難でき、急場をしのがてよかった。』とっていました。

イスやツクエを使って冷たい飲み物を飲みながら、雑談をしていたとき、『ウグイスのさえずりが「ホー、ホケキョ」と聞こえた。また、さえずりとは別のけたたましい鳴き方の「ケキョ・ケキョ・ケキョ…」と続ける鳴き声を聞きました。後で知ったのですが、この鳴き声は、「ウグイスの谷渡り鳴き」と呼ばれているそうです。』と聞き、こんな町なかで聞く事が出来るんだと自慢したくなりました。

緑がいっぱい、ウグイスのさえずりと、我が公民館の良い所を誇りに思い、この利点を、町内の方々が集い、新たな交流の場として生かしていきたいです。



(寄稿：中瀬國男)

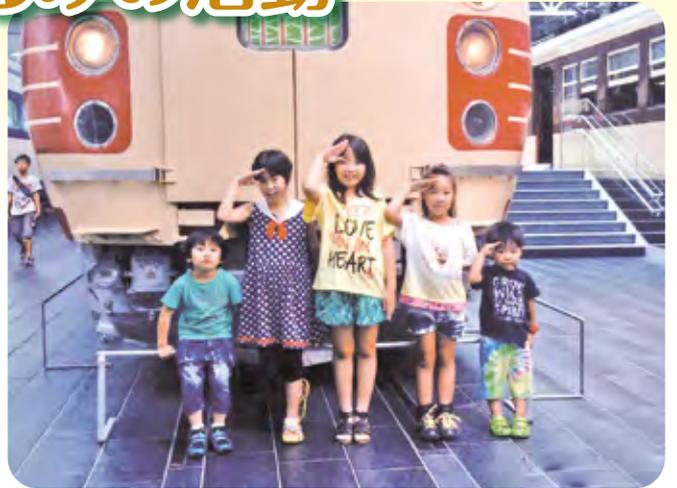


## 思いが通い合う町ぐるみの活動

上野田端町児童福祉会は、上野東小学校に通う子どもたちとその保護者の役員によって運営されています。

田端町は同じ東小学校区の近隣の町と比べると30名余りと少ないですが、とても元気いっぱいの子供たちです。

夏休みのラジオ体操は夏休み初日から8月末まで実施されていて、田端町の子どもたちだけでなく、町内の大人の皆さんも一緒に、毎日多数の参



▲児童福祉会旅行

加をいただ

います。夏休みいっぱいという長期間、また町の皆さんが共に楽しんで参加されているという事が田端町の自慢の行事の一つになっています。今年は2名の子どもが皆勤賞でがんばってくれました。

また、5月のグラウンドゴルフ大会、8月に七夕かざりを作る会、10月ハイキング、11月には町の皆さんお手製の自慢の作品を集めて展示され、コーラスを楽しんだ田端町文化祭、12



▲文化祭

月のふれあい会と数多くありますが、特に田端町の様々な歳の方々と交流する機会、行事が多く、町の人とのつながりを大切にしている児童福祉会と思っています。

## 子どもたちへの贈りもの

その中でも私が特に心にのこった行事があります。12月に田端町集議所で行われたふれあい会です。

ふれあい会は、毎年田端町のお年寄りや町の方々子どもたちが集まり、ビンゴゲーム、スキヤキジャンケン等をし、ワイワイと楽しく過ごします。この冬も小さい集議所がたくさんの人でいっぱいになり、皆ゲームを楽しみ盛り上がりとても楽しい一日でした。お昼には町の有志の方々(町のオバチャン達)の作ったカレーを皆で一緒に食べ、おかわりの声でいっぱいでした。

町の皆で楽しい時を共有し、同じ釜の飯を食べる。とてもありふれた光景ですがそんな単純な事でも、子どもたちの楽しかった思い出として心に残ってくれたらいいなあと、同じ町のオバチャンとして



▲七夕かざりを作る会

(寄稿:会長 岡 裕子)

# あなたの力を住民自治協議会へ

東部地域住民自治協議会では、

- 1.総務広報
- 2.健康福祉
- 3.環境保全
- 4.教育文化スポーツ
- 5.防災防犯交通安全
- 6.人権啓発
- 7.産業振興まちづくり

の七つの実行委員会(部会)が活動しています。

自分たちのすむ地域をより住みやすくするための、平成27年度から新たに実行委員(部会員)になって力を貸して下さる方を、次の方法で募集します。

- ①まちのために何かやってみたいと思われる方
- ②自治協関連組織の長など、従来からの継続、推薦された方
- ③各実行委員会から推薦された方
- ④自治会長から推薦された方

※②～④で推薦された方は、是非ともお引き受けください。



## 寒風突いて東老連グラウンドゴルフ大会

12月6日、東部老人クラブ連合会の平成26年度グラウンドゴルフ大会が東小で開催されました。

寒さがこたえる曇天を吹き飛ばすように83名の方が、「やったあ!ホールインワンや」と喜ぶ声、「もうチョイヤ」とホールに届かない悔しい声、腕を上げた仲間に「うまなつたねっ」と感心するなどの声がグラウンドに広がり、老人パワーを目の当たりにしました。

この大会に備えて、午前中グラウンドを使っていた少年野球やサッカーの練習をしていた人たちが、グラウンドを整備してくれたおかげで、ホー

ルインワン賞が続出して賞品が足りなくなりました。まさに嬉しい悲鳴。整備してくれた方々に紙上をもって深謝いたします。

なお、男女別1～3位と全体の7～10位の方に賞品を贈呈しました。

(寄稿:会長 半田政次)



### 編集後記

おとずれました。

「桜梅桃李」といわれますが地域社会にとっても同じ、調和のとれた社会も、それぞれの個性が生かされることにより営まれるのではないのでしょうか。

あまりにも数多くの悲惨な事項が報道されている昨今、それらに対して一人ひとりの立場で何ができるか、人々という最小単位での考えが家族、ご近所、地域と広がり、やがて地球全体へと広がりを見せて行くのではないのでしょうか。

まだ編集にかかわらせていただいていた九ヶ月余り、ピカピカの一年生ですが、今できることを精一杯、みなさまの足手まといにならないよう頑張っていきます。

最後に一句

散歩道 たんぽぽ(こい)

咲いてる

(内牧幸子)

春到来ーあま  
りにも寒かった年  
頭より待ちこが  
れた花の季節が